

感動の余韻 ～お客さまアンケートより～



Noism1
「Nameless Voice～水の庭、砂の家」
【2012.6.29～7.1、7.27～30/スタジオB】
 水、環境、命。テーマが重く胸にずしりと来るステージでした。引き込まれ、夢中になりました。また観に来ます！
 (新潟市/50代/女性)
 とても良かったです。目の前で人が演じることの迫力を感じました。想像力を刺激される舞台を観せていただきました。
 (30代/女性)



井上ひさし生誕77フェスティバル 新潟第2弾
しみじみ日本・乃木大将
【2012.8.25・26/劇場】
 大変面白く、また風刺に満ちた内容でした。演じている方々も役によく溶け込み、「馬がしゃべる」というあり得ない設定なのに自然に感じました。今後もこのような演目が地方で上演されることを希望します。
 (仙台市/40代/男性)
 パロディがとても楽しいお芝居でしたが、とてもよく調べ研究して作りこまれた作品だと感じました。ベテランの俳優さんの余裕のある演技は観ていて疲れません。楽しく、そして考えさせられるお芝居でした。(60代/女性)



山本真希オルガンリサイタルシリーズ
「グレンツィングオルガンの魅力」
No.14「J.S.バッハオルガン小曲集」
【2012.7.26/コンサートホール】
 初めてオルガンの音を“生”で聴けて感動です。心が洗われる様な不思議な世界に迷い込んだ様でした。
 (50代/女性)
 ドイツの教会にいる気分を味わえました。オルガン以外にもソプラノ、合唱、弦楽四重奏の演奏もあって楽しく聴くことができました。(新潟市/60代/男性)



新潟市ジュニア合唱団
第22回定期演奏会
【2012.7.22/コンサートホール】
 久しぶりに聴きました。ただ歌うだけではなく、踊ったり、ビエロが出てきたり、とても面白かったです。(10代/女性)
 子どもたちの真剣で綺麗な歌声に感動しました。高校生のソロは安定した声でよく響いていました。継続して歌ってきた成果でしょうか。ミュージカルも素晴らしい出来でした！(60代/女性)

RYUTOPIA MAGAZINE

りゅーとぴあマガジン 2012 Autumn vol.30 | Life with Performing Arts



感動は自由席。

「にいがたジルヴェスターコンサート2008」より

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

プレゼント①

抽選で
ペア2組
4名様



イタリアンレストラン
「リバーージュ」(館内3F) ランチ券

プレゼント②

抽選で
ペア2組
4名様



「にいがたジルヴェスターコンサート2012」
 公演チケット

応募方法:ご希望の商品名(①「リバーージュ」ランチ券、②「ジルヴェスター」公演チケット)、(1)住所、(2)氏名、(3)年齢、(4)職業、(5)電話番号、(6)本誌を入手した場所、(7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、ハガキかE-mailでご応募ください。
 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.30プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
 応募多数の場合は抽選。当選者の発表は賞品の発送をもって替えさせていただきます。また、いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。応募締切:2012年11月30日(金) 必着



秋の味覚
 イタリアンきのこフェア 10/31まで
 (ディナータイム)

- メニュー
- ① 甘海老ときのこのピッツァ
 - ② 岩船産黄金豚ハムときのこのカルボナーラ
 - ③ トマトときのこのニョッキ
 - ④ 海の幸ときのこのペペロンチーノ



各、スープ・サラダ・デザート・パン・コーヒー付
各¥1,800(税込)
 ※単品でのご提供は各¥1,200(税込)となります。
 ※館内イベント状況によりラストオーダーの時間が異なりますのでお問合せください。

【編集後記】

連日猛暑だった夏も終わり、芸術の秋到来です。りゅーとぴあでは秋から冬にかけて充実の公演が目白押し。お手頃価格の公演もありますので、秋のお出かけプランにぜひ加えてみてください。また今年の大晦日には4年に一度の年越しコンサート「にいがたジルヴェスターコンサート2012」も開催されます。極上の音楽を楽しみながらの新年カウントダウンはまさに格別です！チケットのお求めはお早めどうぞ！(編)

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあの他にも下記にて無料配布しています。
 新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、ほんぼーと、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、新潟県ネスパス(東京)、長岡リリックホール、上越文化会館、三条中央公民館、小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
 ■次号のりゅーとぴあマガジンvol.31は2013年1月1日発行予定です。

お問合せ

- 館内案内・プレイガイド TEL.025-224-5622 (休館日を除く 11:00～19:00)
- チケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 (休館日を除く 11:00～19:00)
- 施設利用お問合せ TEL.025-224-5621 (休館日を除く 9:30～18:00)
- N-PAC mate友の会事務局 TEL.025-224-5631
- 施設課 TEL.025-224-5611
- 事業課 TEL.025-224-7000

【CONTENTS】

- Spotlight Interview 井上芳雄
- Noism Report
- Ryutopia Navigation
- 山本真希のオルガン世界紀行
- ぶらりFURUMACHI
- 感動の余韻
- 読者プレゼント

りゅーとぴあカレンダー 2012 Autumn

井上ひさしの遺作に ミュージカル界の プリンスが再び挑む!



優れた歌唱力を持ち、ミュージカルを中心に様々な舞台で活躍している井上芳雄さん。「井上ひさし生誕77フェスティバル」のフィナーレを飾る『組曲虐殺』では、2009年の初演に引き続き主人公の作家・小林多喜二を演じます。検閲により表現の自由が抑圧されていた時代に生き、29歳でこの世を去った多喜二。その人生を深い愛情とユーモアで綴った井上ひさしの遺作『組曲虐殺』の魅力についてお話をうかがいました。

——『組曲虐殺』は2009年の初演以来、初めての再演となりますね。

自分が出演できるかどうかは別にして、この作品は絶対に再演すべきだとずっと思っていたんです。今回、僕も含め3年前と完全に同じ7人のキャストで再演できることは、とても嬉しい幸運だと思います。きっと作品の引力が強かったんですね。

——作家の小林多喜二を初演で演じてみていかがでしたか？

プロレタリア文学を代表する作家ということもあって、激しくて、痛くて、ゴツゴツしたイメージをなんとなく持っていたんですけど、『組曲虐殺』ではそんなイメージと違う多喜二が出てくるんです。にこやかで、ベートーヴェンの音楽などの芸術にも造詣があって、みんなに愛されている。そして自分も人間への愛を惜しまない。多喜二は世の中の仕組みを憎んでいるけれど、人間自体は決して憎んでいない。井上(ひさし)先生もまさにそうだったんじゃないかと思うんですね。人として素敵なんです。

——多喜二のセリフは、井上ひさしさんご自身

の言いたかったことを代弁していますよね。

最後の方はもうほとんどそうです。荷が重すぎる。初演のとき、僕はどうしていたんだろう?(笑)。井上先生が紡いでくれた多喜二のセリフは、ある意味、どういふに言っても伝わるセリフなんです。「自分のテクニックも加えてもっといいセリフにしてやろう」という思惑が太刀打ちできないくらい言葉に力があります。だから多喜二の「体全体でぶつかって」というセリフではないけれど、僕も井上さんのセリフに真正面からぶつかっていくという感じです。それは今回の再演でも基本的に変わらないと思います。

——音楽とピアノの演奏をジャズ・ピアニストの小曾根真さんが担当しています。

小曾根さんは“即興”という感じで毎日違った演奏をするんです。稽古場では自分の手はそっこのけでありえないくらい僕のことを見ていて(笑)、僕のやりたい方向を感じ取ってくれる。即興やアドリブをただ怖いもの感じていたクラシック出身の僕には衝撃でした。と同時に、毎日違うことは難しいことではなく、楽しいことだと身をもっ

て教えてください…。そういう意味で、小曾根さんは僕の新しい扉を開けてくださった方です。

——最後にこの舞台を楽しみにしているみなさんへメッセージをお願いします。

小林多喜二と聞くと、特に若い世代の方にとっては「ああ、あの『蟹工船』の人か」という程度だと思っんです。でも、この作品をご覧になれば、多喜二の人生をもっと深く知ることができて、きっとすごく驚く。それはもう、すごい体験になると思います。舞台って、観ているわずかに数時間でその人の人生を変えてしまう可能性を秘めているけれど、特にこの作品は多くの方の心に入り込める作品のはず。そういう役目を担っているのは、責任重大ですけど幸せなことだと思っています。舞台は一期一会。ぜひ劇場へ足をお運びください。

井上芳雄
Inoue Yoshio / 俳優

1979年7月6日生まれ。福岡県出身。2000年にミュージカル「エリザベト」のルドルフ役で鮮烈なデビューを飾る。以降、その高い歌唱力と存在感で数々のミュージカルや舞台に出演。今年「タティ・ロン・レグズ〜足ながおじさんより〜」で紳士ジャーヴィス役を好演した。近年ではストリートプレイや映像でも活躍するなど、演技者としての幅を広げ、俳優として高い評価を得ている。

声なき声の叫びが響く、この世の果ての物語。

Noism1「Nameless Voice～水の庭、砂の家」が、この夏待望の幕を開けた。2008年に初演を果たし、第8回朝日舞台芸術賞舞踊賞を受賞した『Nameless Hands～人形の家』、チューホフ国際演劇祭との共同制作により2009年に上演された『Nameless Poison～黒衣の僧』に続く第3弾であり、本作をもってシリーズはいよいよ完結を遂げる。この最終章で描かれる、新たな見世物小屋の世界とは……。



写真:篠山紀信

前作から三年の月日が経ち、いよいよ迎えた見世物小屋シリーズ第3弾『Nameless Voice～水の庭、砂の家』。カンパニーぎっての人気レパートリーであり、芸術監督・金森穂の新境地を切り開いたといわれる同シリーズ。その最新作であり完結を遂げる世界の果てに、行き着く場所とは何処なのか。舞台は新潟を皮切りに、埼玉、静岡、愛知、金沢、さらに新潟で二度の凱旋公演を行い、めくるめく見世物小屋の物語を描く。



7月上旬、埼玉公演。舞台に選ばれたのは、彩の国さいたま芸術劇場・小ホール。意外なことに、Noismが同劇場に登場するのは今回が初めてのこと。コロシアムスタイルの会場に交錯する視線と期待、沸き立つ熱気。それはまた、見世物小屋に集う人々のじりじりとした熱と相似する。

Noism1新作 見世物小屋シリーズ第3弾
『Nameless Voice ～水の庭、砂の家』
新潟凱旋公演
【日時】2012年10月27日(土)・28日(日)、
11月2日(金)～11月4日(日)
平日19:00、土日祝17:00
【会場】りゅーとびあスタジオB
【入場料】全席自由¥4,000(学生¥2,000)
【演出振付】金森穂 (Noism芸術監督)
【出演】Noism1
チケット発売中

冒頭から、予想だにしない光景が待ち受ける。ペットボトルの壁を突き崩し、激しく踊るひとりの男。周囲にはやはりペットボトルの壁が連なるものの、男の喉を潤すことはない。刻々と乾きゆく大地に、容赦なく照りつける太陽。砂を産み落とす女と、救いのない未来に向け産声をあげる子どもたち……。第2幕はまた、ガラリと様相を変える。砂の敷き詰められたステージは、かつては青く深い海の底。人々はゆるゆると天を見上げ腕を伸ばすが、その祈りは果てしなく、永遠に続くかのように思われる。

時を置いて7月下旬、一度目の新潟凱旋公演。次なる舞台は、Noismの本拠地・りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館スタジオB。客席はさらに密度を増し、ただならぬ熱とざわめきが渦を巻く。見世物小屋に集った観衆は、またそこで新たな驚きを知ることになる。明らかに進化を遂げた舞踊家たちの身体と、それに伴い精度を高めた作品世界——。母を演じる井関佐和子の、壮絶な母性が胸を打つ。空気をかき抱き、しなり、全身で発する叫び。それは痛ましく、一方でどこまでも優しく慈愛に満ちる。小尻建太の存在感も素晴らしい。肉体はあくまで鋭利でありながら、内に湛える血は絶対的な温もりを持つ。ひりひりと焼けつくステージは、謙虚になれ、傍観者でいるなど訴えかける。目の前で起こるのは、近未



来のようにいて、着々と進行を続ける現実世界の出来事だ。人々が絶望に陥る寸前、ようやくささやかな希望が訪れる。とはいえそれも、束の間の安堵なのかもしれない。ただの気休め、気まぐれの恵みなのかもしれない。金森がこれだけ赤裸々に時代を抉り、メッセージを投影するのも珍しい。そこには過去三年の間に一変した社会への危惧や警鐘、芸術家として見過ごすことのできない問題提起の想いが潜む。だが声なき声が響くのも、確かな芸術的価値があったこそ。技巧を超えた舞踊家は、捨て身で作品世界を生き抜いてゆく。饒舌な肉体を得た作家の自負と、漲る力の根源をそこに見る。遂に世に放たれた、見世物小屋シリーズ最終章・完結編。それはまた、ひとつの輝く名作が産み落とされた瞬間だった。

取材・文:小野寺悦子

Noism『solo for 2』『中国の不思議な役人』

Noismが外部企画で創作・上演し、高い評価を獲得した2作品を新潟で初演!

- 『solo for 2』(NHKバレエの饗宴2012)
- 『中国の不思議な役人』(サイトウ・キネン・フェスティバル松本2011)
- 【日時】2012年12月20日(木)・21日(金) 19:00 ※全2回公演
- 【会場】りゅーとびあ劇場
- 【入場料】全席指定¥5,000(学生¥2,500)
- 【演出振付】金森穂 (Noism芸術監督)
- 【出演】Noism1
- 【発売日】一般10月27日(土)・会員10月24日(水)



私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismでは引き続きレジデンシャル活動を支援してくださる企業および個人のスポンサーを募集しております。詳しくは<http://www.noism.jp>「活動支援」/りゅーとびあ事業課(TEL.025-224-7000)までお問合せください。

井上ひさし生誕77フェスティバル新潟 第3弾
組曲虐殺

【公演日】2013年1月23日(水) 18:30 【会場】劇場
【作】井上ひさし 【演出】栗山民也 【音楽&演奏】小曾根真
【出演】井上芳雄、石原さとみ、山本龍二、山崎一、神野三鈴、高畑淳子
【入場料】S席¥8,400 A席¥6,300
【発売日】一般10月19日(金)・会員先行10月16日(火)・演劇パル先行10月14日(日)

Information

RYUTOPIA NAVIGATION 2012 AUTUMN / 2013 WINTER

2012年秋～2013年冬のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は本誌折込のりゅーとびあカレンダーをご覧ください。

音楽による感動の「新年カウントダウン」!

りゅーとびあ開館15周年記念
にいがたジルヴェスターコンサート2012
～ヴェルディ&ワーグナー生誕200年!～
■2012.12.31(月) 22:00開演 ■コンサートホール

「ジルヴェスター」とはドイツ語で“大晦日”の意味。その大晦日に4年に1度、りゅーとびあで開催しているのが「にいがたジルヴェスターコンサート」です。今回は2013年に生誕200年を迎えるオペラの2大巨匠ヴェルディとワーグナーの楽曲で構成されたオペラコンサートと、年明けは恒例のニューイヤーコンサートという豪華プログラムでお贈りします。

コンサート開幕 ◆ 21:30～(開場21:15)

東京交響楽団ファンファーレ隊による吉松隆の「ファンファーレ新潟」で、お客さまをお出迎え。開演までは、りゅーとびあ専属オルガニスト山本真希のオルガン・プレコンサートに耳を傾けながら、またビュッフェでグラスを傾けながら開演までおつろぎください。



東京交響楽団ファンファーレ隊 山本真希

第1部「ヴィヴァ!ヴェルディ」 ◆ 22:00～

いよいよコンサート開演。オーケストラはマエストロ秋山和慶が率いる東京交響楽団。司会は日本を代表するメゾ・ソプラノの郡愛子が務めます。第1部のヴェルディ特集は、おなじみの「アイダ行進曲」でスタート。日本を代表する歌手たちがヴェルディの歌劇(リゴレット)や《椿姫》などの名曲で競演します。



秋山和慶(指揮)



郡愛子(メゾ・ソプラノ/司会) 高橋薫子(ソプラノ) 鈴木愛美(ソプラノ) 三浦克次(バス・バリトン)

第2部「ヴァンダ!ワーグナー」 ◆ 23:05～

休憩後の第2部はワーグナー特集。人気曲の《ニュルンベルクのマイスタージンガー》前奏曲、感動的な歌劇《タンホイザー》の合唱曲、そして日本のローエングリン第一人者、成田勝美(テノール)の歌声による楽劇《ローエングリン》からの名曲をご堪能ください。



成田勝美(テノール)

第3部「カウントダウン」 ◆ 23:45～

新年までのカウントダウン曲は演奏時間約15分の堂々たる名曲、ワーグナーの歌劇《タンホイザー》序曲。午前0時にビタリと曲が終わる感動の瞬間をドキドキしながら期待しましょう。



「にいがたジルヴェスターコンサート2004」のカウントダウンの様子

第4部「2013年ニューイヤーコンサート」 ◆ 0:00～

新年の幕開けはウィーンの香りいっぱいのプログラムをどうぞ!フィナーレでは「皇帝円舞曲」をお届けします。拍手次第でアンコールもあるかもしれません!(0:45終演予定)



大谷康子(ヴァイオリン)

ラヴェルの大曲 「ダフニスとクロエ」を全曲演奏

第74回新潟定期演奏会 / 東京交響楽団
■2012.10.13(土) 17:00開演
■コンサートホール

「ボレロ」で有名なラヴェル作曲の「ダフニスとクロエ」を全曲通して聴ける、新潟定期ならではの貴重な演奏会。指揮は新潟でも高い人気を誇る飯森範親。オーケストラ総勢100名と、にいがた東響コーラスによる洗練された演奏は聴きものです。東響のソロ・コンサートマスター大谷康子がソリストを務めるサン＝サーンスの「ヴァイオリン協奏曲第3番」にもご期待ください。



飯森範親 大谷康子

ピアノ没後20年に贈る ギターリサイタル

りゅーとびあ・プライム・クラシック1500
vol.12「ギター」大萩康司
■2012.10.25(木) 19:00開演
■コンサートホール

1500円というお手頃価格で2時間たっぷりと本格的なクラシックのプログラムを聴ける人気シリーズ。今回はロマンティックな音色と卓越したテクニックで注目を浴びる若手ギタリストのホープが、ピアノ没後20年を記念して高度な演奏技巧が要求される難曲の「ブエノスアイレスの四季」全曲ほかを演奏します。アーティスト本人による曲目解説などトークも楽しめます。



大萩康司

人気急上昇中のヴァイオリニストが 名曲を弾き振り

第75回新潟定期演奏会 / 東京交響楽団
■2012.11.11(日) 17:00開演
■コンサートホール

東響との共演、ラ・フォル・ジュルネへの出演などで大きな話題を呼び、日本でも人気急上昇中。新世代ヴァイオリニストのネマニャ・ラドヴィチが、指揮とヴァイオリンを兼ねるリサイタルのような演奏会。バッハの「ヴァイオリン協奏曲第1番」や、3大ヴァイオリン協奏曲の一つとして有名なメンデルスゾーン「ヴァイオリン協奏曲」ほかを演奏します。



ネマニャ・ラドヴィチ

オルガン&金管五重奏&合唱の 楽しいクリスマスコンサート!

りゅーとびあ・オルガン・クリスマス★コンサート
■2012.12.22(土) 14:00開演
■コンサートホール

クリスマスといえばオルガン!おなじみの「ジングルベル」や讃美歌など、クリスマスシーズンに聴きたくなる名曲をたっぷり楽しめるコンサートを今年もお贈りします。りゅーとびあ専属オルガニスト山本真希が奏でる壮麗なオルガンの響き、金管五重奏の明るい音色、新潟市ジュニア合唱団の清らかな歌声に耳をすませながら、心温まるクリスマスのひとときをどうぞ!



オーケストラの迫力ある演奏を お手頃価格で!

りゅーとびあ特割コンサート
～東京交響楽団名曲コンサート～
■2012.11.14(水) 18:30開演
■コンサートホール

りゅーとびあで年6回定期演奏会をしている東京交響楽団が、オーケストラの魅力を一時間にギュッと詰め込んで毎年お届けしている人気のコンサート。飯森範親の指揮で、エルガーの行進曲「威風堂々」やシベリウスの「フィンランディア」など、おなじみの名曲をご堪能ください。チケットは10月31日まで特別割引価格1500円にて販売。お求めはお早めどうぞ!



ヨーロッパを拠点に活躍する 新潟市出身のオルガニストが再び!

石丸由佳オルガンリサイタルinりゅーとびあNo.2
■2012.10.21(日) 17:00開演
■コンサートホール

2010年に権威あるシャルトル国際オルガンコンクールでグランプリに輝いた新潟市出身のオルガニストが、1年半ぶりに故郷新潟へやってきます。今回はバッハ、モーツァルト、メンデルスゾーンの作品に加え、オルガンの多彩な表現や可能性を味わえる現代曲で構成されたプログラムをお贈りします。ヨーロッパでさらなる研鑽を積んだオルガニストの演奏にご期待ください!



石丸由佳

フランスを代表するオーケストラと諏訪内晶子が夢の共演!

りゅーとびあ友の会N-PAC mate会員優待コンサート
トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団 / 諏訪内晶子(ヴァイオリン)
■2012.12.13(木) 19:00開演 ■コンサートホール

現在パリを拠点に活躍中の世界的ヴァイオリニスト諏訪内晶子が、2年ぶりにりゅーとびあに登場!オーケストラは昨年のフランス「フィガロ」誌のオーケストラ番付でバリ管、バリ・オペラ座管と並んでトップの評価を獲得したトゥールーズ・キャピトル管弦楽団。指揮はその音楽監督でもあり、現代の若手指揮者の中で屈指の存在を誇るトゥガン・ソヒエフ。サン＝サーンス「ヴァイオリン協奏曲 第3番」、ベルリオーズ「幻想交響曲」ほか魅力的なフランス音楽のプログラムを、色彩感溢れる演奏でお聴きください。



トゥガン・ソヒエフ 諏訪内晶子

りゅーとびあ友の会会員様は、S席13,000円のところ会員特別価格8,000円にてチケットをお求めいただけます。友の会へのご入会方法は、りゅーとびあカレンダー裏面をご覧ください。

世界最高のピアニストが奏でる究極のドビュッシー!

クリスチャン・ツィメルマン ピアノ・リサイタル
■2012.12.1(土) 17:00開演
■コンサートホール

ショパン国際ピアノコンクールで史上最年少の18歳で優勝し、バーンスタイン、カラヤン、小沢征爾など数多くの世界的な指揮者と共に演奏してきた現代最高峰のピアニストが、2010年のオール・ショパン・プログラム以来、2年半ぶりに登場。今年で生誕150年を迎えるドビュッシーの晩年の傑作「12の練習曲」を中心とするオール・ドビュッシー・プログラムを披露します。



クリスチャン・ツィメルマン

大人も子どもも楽しめる永遠の名作!

オペラシアターこんにゃく座
オペラ《森は生きている》(新演出)
■2012.12.7(金) 18:30開演
■コンサートホール

昨年のオペラ《ピノッキオ》が大好評だったオペラシアターこんにゃく座の代表作を新演出でお贈りします。大晦日にわがままな女王が4月に咲くマツユキ草を欲しいと言いつつ出たことから国中は大騒ぎ。ほうびの金貨が目くらんだ継母の言いつけで冬の森に行かされた娘は12人の月の精に出会います…。3歳からご入場できますので、お子さんやお孫さんへのクリスマスプレゼントにもどうぞ!



能楽堂で極上の狂言を!

野村万作・萬斎狂言公演
■2012.12.8(土) 13:00開演、17:00開演
■能楽堂

人間国宝の野村万作と、縦横無尽の活躍をみせる野村萬斎による大好評の狂言シリーズが今年もやってきます。まずい柿をおいしいと思わせるのに四苦八苦する柿売りの様子が見どころの狂言「合柿(あわせがき)」。仲間割れをした二人の山賊が、どこかピントのズレた果し合いで決着をつけようとするやりとりが楽しい狂言「文山賊(ふみやまだち)」など3作品を上演します。



狂言「文山賊」

贅沢で楽しい人気の能楽講座

能楽基礎講座特別版
「馬場あき子 能楽の楽しみ」〈第3回〉
■2012.12.1(土) 14:00開演
■能楽堂

能の実演を交えながら、歌人・馬場あき子が能の魅力をわかりやすくご案内する能楽講座です。第3回のテーマは能「船弁慶」。兄頼朝に追われた源義経が武蔵坊弁慶らとともに海上を船に乗って西国へ向かう途中、平家一門の亡霊に襲われるという物語の作品を、馬場あき子の鮮やかな解説と塩津哲生らによる能楽師の実演でお楽しみください。



能「船弁慶」



パリのサン・ティエヌ・デュモン教会のオルガン

山本真希のオルガン世界紀行

文 山本 真希 (りゅーとびあ専属オルガニスト)

vol.10

オルガン音楽でめぐるヨーロッパの旅 ~石丸由佳さんのオルガンリサイタル~

パイプオルガンの歴史は古く、初めて発明されたのは2000年以上前に遡ります。エジプトで発明された古代のオルガンはやがてギリシャに伝わり、改良され、ローマへと伝えられました。中世には、アコーディオンのように演奏者自身が左手でふいごを、右手で鍵盤を操作するポルタティブや、もう少し大掛かりで、ふいごを操作する助け手が必要なポジティブ・オルガンといった小型のオルガンが人気を誇っていました。その後、教会にも設置されるようになり、合唱の補助として用いられるようになりました。13世紀に入り、大聖堂が建造されるようになると楽器も大型化され、新しい製作技術も工夫されるようになって、16世紀頃には今日の楽器のほぼ原型といえる姿へと発展しました。

宗教改革の中、変化の激しい時代であった16世紀、オルガン音楽は南のカトリックと北のプロテスタントが対立するような形で育まれました。ヨーロッパの中央に位置し、文化や商業の交差点となるドイツは、南欧北欧両方の伝統の流れをくみ、独自の文化とあいまって大きく発展し

ていきます。オルガンが楽器として充実し、各地の個性が色濃くなり始めた頃、中央ドイツでヨハン・セバスチャン・バッハは生まれました。先の時代の各地の伝統を総括し、強い個性と類まれな才能によって、後の時代の人々がお手本とするような多くの美しい作品をうみだしたバッハ。彼の時代にオルガン音楽は最盛期を迎え、その伝統は現代にまで脈々と受け継がれています。

この秋、新潟出身のオルガニスト石丸由佳さんが、一昨年に続き2度目のリサイタルを行います。バッハの名作をはじめ、彼の作品を敬愛したモーツァルト、バッハの“マタイ受難曲”復活演奏という歴史的偉業を行ったメンデルスゾーンの華やかな作品に加え、オルガンの様々な可能性を引き出す現代曲という、盛りだくさんのプログラム。ヨーロッパでのリサイタルツアーを終え、益々洗練された演奏をお届けくださると思います。さわやかな秋の日、オルガン音楽でめぐるヨーロッパの旅をどうぞお楽しみください。

PROFILE Yamamoto Maki
大阪府出身。神戸女学院大学音楽学部、同専攻科卒業後渡独。ドイツのフライブルク、シュトゥットガルトでオルガンを学ぶ。第1回ドイツ・ランドゥスベルク国際オルガン・コンクール第3位。りゅーとびあ専属オルガニスト、大阪相愛大学オルガン科講師。新潟市在住。



オルガン・インフォメーション

- 石丸由佳オルガンリサイタル in りゅーとびあ No.2 (10/21)
※公演情報の詳細は「りゅーとびあカレンダー」をご覧ください。
- 山本真希のCD「グレンツィングオルガンの魅力」高音質オリジナル音源をダウンロード配信中です(全曲試聴可能)。
音楽ダウンロードサイト「e-onkyo music」から「山本真希」で検索できます。

ただいま本番中! in りゅーとびあ

りゅーとびあで本番を迎える市民のみなさまの活動の様子をご紹介します。



能楽堂で高校生がお茶会!?

8月9日(木)【能楽堂・楽屋】

能楽堂といっても今回は楽屋が会場です。能楽堂の楽屋は、能舞台の真裏に位置する中庭に面し、5階建物内にありながらも明るい日差しが差し込む和の空間。3間続きの和室は、床の間・水屋を備え、正式なお茶会にご利用いただけます。

去る8月、ここで県内の高校茶道部による「第26回新潟県高等学校総合文化祭合同茶会」(主催:県高等学校文化連盟)が開催されました。

今年は分水高校と巻高校の生徒さんが亭主となり、約700人の高校生が参加。「茶道の練習を通じ

て礼儀作法や他人への気配りが身に付いてきた」という新津南高の土田ひかりさんは、「りゅーとびあ」の茶室は厳かな雰囲気が漂う大好きな空間」とも話してくれました。

親しい方を招いてのお茶会、また気軽な練習会場としてもぜひお使いください。

楽屋3部屋、水屋2箇所。大規模な茶会開催時は能楽堂客席を待合としてご利用いただけます。気軽にお使いいただける茶道具(釜、茶碗、柄杓等)も貸出しています。

施設利用のお問合せは、りゅーとびあ施設課 利用サービス係 TEL 025-224-5621 (9:30~18:00)

りゅーとびあ SHOP 通信

りゅーとびあSHOP(館内2F)
営業時間 11:00~19:00(休館日を除く)

【りゅーとびあオリジナル筆箋】

舞台鑑賞に来館のお土産に、2階インフォメーションでは様々な商品をご用意しています。オリジナル筆箋は7種類の絵柄で1冊200円、どの組合せでも3冊セットで500円とお得です。

オリジナル筆箋を3冊セットでご購入いただいた先着100名様にオリジナル絵葉書を1枚プレゼント!ご購入の際に「マガジンを見た!」とお伝えください。



※写真はイメージです

ぶらりFURUMACHI

文・イラスト: 迫 一成 (hickory03travelers)

vol.10

「劇団ピンクドロクが 上古町で公演」

「水と土の芸術祭2012」のプロジェクトの1つとして、新潟が世界に誇るダンスカンパニーNoismのメンバーが企画する「劇団ピンクドロク」の公演が、8月の暑い日に上古町にある当店2階の4部屋で行われました(宮河愛一郎さん、藤井泉さん、平間文朗さんが登場)。高さも広さも古い新潟の町家で、ぎゅうぎゅうに集まったお客さんは緊張感に息をのみながら、暑さと熱気我を侵。ついクスクスしてしまふような宮河さんと藤井さんの2人(恋人?夫婦?)の言葉のやりとりや見事な身体の動き、そして凝った映像など、空間を活かした内容がとても刺激的でした。

それと印象的だったのは、Noismのメンバーさんも制作の手伝いやフォローをしたり、新潟のデザイナー、建築家と一緒に舞台を作り上げたという過程。お互いにとっても貴重な時間だったと思います。これまで遠い存在だと感じていたダンサーさん達がとても身近な存在になり、マチの魅力になり得る気がしました。



面白そうなことは受け入れてやってみる。それがぼくたちにできる可能性をつなぐやりかたの1つだと、反省会をした「おでんやじゅんちゃん」で思ったのでした。不思議な夏の思い出です。秋にもまた何かやってほしいですね。そして商店街でも何かやってみてほしいですね。どんなことが起こるか楽しみです。

PROFILE Sako Kazunari 1978年福岡県生まれ。2001年クリエイティブ集団hickory03travelers結成。「日常を楽しむ」のコンセプトに基づき、Tシャツ、雑貨などのデザイン制作・販売を一貫して行う。その他、個展、アートイベントの企画・運営、商店街を面白くする活動など幅広くそして柔らかに活動中。
http://www.h03tr.com

RYUTOPIA Before? After?



りゅーとびあでのコンサートや舞台鑑賞の前後に立ち寄りた「パートナーショップ」のお店をご紹介します。

古町 丸屋

昔ながらの佇まいでどこか懐かしい和・洋菓子のお店。名物「まりつき最中」(148円)は、二代目が敬愛した良寛さんにちなむまりの形をしたお菓子で、一つひとつに良寛さんの歌が添えられています。三代目となる現店主のもと、毎日お店のすぐ裏の工場で作られたお菓子が並びます。



新潟市中央区古町通3-652
TEL 025-222-3638
【営業時間】9:00~18:00
【休日】なし

パートナーショップ特典 シュークリームを105円(税込)で販売

パートナーショップとは?

りゅーとびあで開催された公演チケットか、りゅーとびあ友の会 N-PAC mate 会員証を提示すると、サービスをご利用いただけるお店です。詳細はりゅーとびあホームページでご確認ください。※公演によっては対象外のものもございます。

ジパング展 沸騰する日本の現代アート

会田誠、山口晃、鴻池朋子からチームラボまで、日本が世界に誇るアーティストが総結集!

2012年10月6日(土)~12月2日(日) 新潟県立万代島美術館

一般900円(700円) 大学・高校生700円(500円) 新潟県立万代島美術館
※()内は有料20名様以上の団体料金 ※中学生以下は無料です。お問合せ TEL 025-290-6655
主催:新潟県立万代島美術館、TeNYテレビ新潟、ジパング展新潟実行委員会、読売新聞社、美術館連絡協議会



会田誠 群像図(くんじょうず) '97 1997 ©AIDA Makoto Courtesy of Mizuma Art Gallery

芸術監督に人間国宝 坂東玉三郎氏 鼓童 ワン・アース・ツアー 2012~伝説 新潟県民会館大ホール

2012年12月8日(土) 18:30開演(18:00開場)
12月9日(日) 14:00開演(13:30開場)

全席指定 S席 6,000円(税込) A席 5,000円(税込)

主催:TeNYテレビ新潟、(公財)新潟県文化振興財団
※未就学児はご入場できません。

本場アメリカからやってくる極上のエンタテインメント! 抜群の歌唱力を誇る大橋純子、ビリー・キングが特別出演!
ハリウッド・フェスティバル・オーケストラ
2013年1月14日(祝・月) 14:00開演(13:30開場)

りゅーとびあコンサートホール
<プログラム>嵐と共に去りぬ、マイ・フェア・レディ、アラビアのロレンス、タイタニック、ロッキー ほかに予定
全席指定 S席 7,800円(税込) A席 6,800円(税込) B席 5,800円(税込)
10月28日(日) 発売 ※未就学児はご入場できません。

話題の天才少年ピアニスト 史上最年少CDデビュー!新潟初リサイタル!!
うしだともはる
牛田智大
ピアノ
リサイタル

2013年2月3日(日) 14:00開演(13:30開場)
りゅーとびあコンサートホール
全席指定 3,000円(税込) 10月20日(土) 発売
※未就学児はご入場できません。

電話予約・お問合せ [TeNYチケット専用ダイヤル] (平日9:30~18:00)

TEL 025-281-8000

http://www.teny.co.jp/

詳しくは、TeNYのホームページ「イベント情報」をチェック!!



携帯電話からチケット予約ができます。今すぐアクセス!!
※CNプレイガイドのサイトにつながります。

